



## 平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年5月14日

上場会社名 横浜冷凍株式会社

コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉川 俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長

(氏名) 岩田 修自

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日

TEL 045-326-1010

平成22年6月17日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
22年9月期第2四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第2四半期	62,544	13.7	2,529	832.4	2,646	573.8	1,386	734.9
	54,995	—	271	—	392	—	166	—
1株当たり四半期純利益			潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
22年9月期第2四半期	円 銭		円 銭					
21年9月期第2四半期	26.78		—					
	3.21		—					

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
22年9月期第2四半期	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月期	84,902	56,484	66.2	1,085.54
	79,249	55,553	69.7	1,067.34

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 56,188百万円 21年9月期 55,267百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
21年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年9月期 (予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名) ) 除外 一社 (社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年9月期第2四半期 52,450,969株 21年9月期 52,450,969株  
② 期末自己株式数 22年9月期第2四半期 690,636株 21年9月期 670,460株  
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年9月期第2四半期 51,771,931株 21年9月期第2四半期 51,800,695株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。  
なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧下さい。

## 定性情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性情報

#### (1) 平成22年9月期 第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国や中国を中心とした海外経済の回復を背景に、輸出や生産は増加基調で推移し企業収益の改善も見られ、また、経済対策の効果により耐久消費財を中心に個人消費も持ち直してはいるが、依然として高水準な設備過剰感や雇用・所得環境の悪化に加え、デフレ圧力が継続する厳しい状況で推移しました。

食品関連業界におきましては、厳しい雇用・所得環境が続くなか、消費者の節約志向・低価格志向が依然として継続していることもあり、個人消費は低水準で推移する厳しい事業展開となりました。

このような状況のもと当社グループは、平成20年11月に発表いたしました新中期経営計画（3ヵ年）に基づき、冷蔵倉庫事業部門では多彩な物流サービスの積極展開、食品販売事業部門では原料サプライヤーとしての機能向上を運営方針として、ともに更なるサービスの高度化や新規需要の開拓に積極的に取り組んで業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高62,544百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益2,529百万円（前年同期比 832.4%増）、経常利益2,646百万円（前年同期比 573.8%増）、四半期純利益1,386百万円（前年同期比 734.9%増）の増収増益となりました。

#### (2) セグメント別の概況

##### ①冷蔵倉庫事業

個人消費低迷や在庫調整の影響により全体的に荷動きが鈍い状況が続く環境下で、ロック体制を軸としたエリア密着型の集荷活動を展開する一方で、作業効率改善等によるコスト削減に取り組んでまいりました。

前年同期と比べ内貨貨物の取扱量は増加しましたが、外貨貨物の取扱量が減少した影響により、入庫取扱量は前年同期と同水準を維持できましたが、平均保管在庫量は7.1%減少となり売上高は前年同期と比べ減少いたしました。利益面については、収益重視の集荷活動及びコスト削減効果による利益率の向上等により営業利益は前年同期と比べ増益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績につきましては、売上高は前年同期比4.8%減収の9,464百万円、営業利益は前年同期比9.2%増益の2,158百万円となりました。

##### ②食品販売事業

国内消費需要の低迷に加え、水産物及び畜肉相場は低水準で推移する販売環境下で、事業部制による徹底した在庫管理と利益率を重視した販売活動とグループ会社との連携強化により増収増益となりました。品目別の状況は、水産品についてはサケ、サバの輸出を中心に主要品目の売上高を伸ばし増収増益、畜産品は供給過剰によりポークの取り扱いが減少するも利益は確保し減収増益、農産品は販路拡大により増収増益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、売上高は前年同期比17.8%増収の53,062百万円、営業損益は1,248百万円の営業利益（前年同期は972百万円の営業損失）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ5,652百万円増加し84,902百万円となりました。これは主に、商品が4,534百万円、売上債権が2,160百万円増加したことや、有形固定資産が653百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ4,722百万円増加し28,418百万円となりました。これは主に、借入金の総額が4,603百万円、仕入債務が453百万円、未払費用が404百万円、未払法人税等345百万円などが増加したことや、未払金が968百万円、社債が150百万円減少したこと等によるものです。また、純資産につきましては前連結会計年度末に比べ930百万円増加し56,484百万円となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、前連結会計年度末に比べ856百万円減少の4,337百万円となりました。

当第2四半期におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

##### ①営業キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,997百万円の資金の減少（前年同四半期は1,026百万円の資金の減少）となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益2,585百万円、減価償却費1,513百万円及び仕入債務の増加額453百万円による資金増加と、たな卸資産の増加額4,530百万円、売上債権の増加額2,162百万円及び法人税等の支払額656百万円などの資金減少によるものです。

##### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,759百万円の資金の減少（前年同四半期は4,749百万円の資金の減少）となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出1,425百万円と長期前払費用の取得による支出389百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,903百万円の資金の増加（前年同四半期は7,405百万円の資金の増加）となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額4,603百万円による資金増加と、配当金の支払額515百万円による資金減少によるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

「平成21年9月期決算短信」（平成21年11月13日付）で公表いたしました平成22年9月期の通期連結業績予想につきましては、以下のとおり修正いたしました。

売上高127,050百万円、営業利益4,460百万円、経常利益4,680百万円、当期純利益2,350百万円。

なお、詳細につきましては、平成22年5月7日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	4,445	5,305
受取手形及び売掛金	16,164	14,003
商品	10,340	5,806
その他	889	489
貸倒引当金	△22	△33
流动資産合計	31,817	25,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,965	22,654
機械装置及び運搬具（純額）	3,696	4,042
土地	17,809	17,170
建設仮勘定	252	606
その他（純額）	555	458
有形固定資産合計	44,279	44,933
無形固定資産		
のれん	1,509	1,600
その他	1,455	1,440
無形固定資産合計	2,964	3,041
投資その他の資産		
投資有価証券	3,991	4,073
長期貸付金	473	647
その他	1,467	1,193
貸倒引当金	△90	△212
投資その他の資産合計	5,841	5,703
固定資産合計	53,084	53,678
資産合計	84,902	79,249

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成22年3月31日)

前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成21年9月30日)

## 負債の部

## 流動負債

支払手形及び買掛金	9,180	8,727
短期借入金	5,789	900
1年内返済予定の長期借入金	1,252	1,162
1年内償還予定の社債	300	300
未払法人税等	1,072	726
賞与引当金	453	523
役員賞与引当金	14	29
その他	1,836	2,450
流動負債合計	19,899	14,819

## 固定負債

社債	330	480
長期借入金	7,104	7,480
退職給付引当金	414	390
役員退職慰労引当金	312	305
その他	357	220
固定負債合計	8,519	8,876

## 負債合計

負債合計	28,418	23,695
------	--------	--------

## 純資産の部

## 株主資本

資本金	11,065	11,065
資本剰余金	11,109	11,109
利益剰余金	34,401	33,532
自己株式	△512	△500
株主資本合計	56,063	55,207

## 評価・換算差額等

その他有価証券評価差額金	270	200
繰延ヘッジ損益	1	△1
為替換算調整勘定	△147	△138
評価・換算差額等合計	124	60
少数株主持分	296	286
純資産合計	56,484	55,553

## 負債純資産合計

負債純資産合計	84,902	79,249
---------	--------	--------

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	54,995	62,544
売上原価	51,858	56,486
売上総利益	3,137	6,057
販売費及び一般管理費	2,866	3,528
営業利益	271	2,529
営業外収益		
受取利息	11	16
受取配当金	19	21
負ののれん償却額	—	31
保険配当金	23	27
その他	182	162
営業外収益合計	236	259
営業外費用		
支払利息	64	96
デリバティブ評価損	—	19
その他	50	25
営業外費用合計	115	141
経常利益	392	2,646
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	33	—
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	21
特別利益合計	35	21
特別損失		
固定資産除売却損	51	32
投資有価証券売却損	1	46
投資有価証券評価損	65	—
ゴルフ会員権売却損	—	4
貸倒引当金繰入額	38	—
特別損失合計	158	83
税金等調整前四半期純利益	270	2,585
法人税、住民税及び事業税	45	1,034
法人税等調整額	48	118
法人税等合計	93	1,152
少数株主利益	10	46
四半期純利益	166	1,386

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	270	2,585
減価償却費	1,553	1,513
のれん償却額	64	91
負ののれん償却額	—	△31
賞与引当金の増減額（△は減少）	△251	△70
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△18	△14
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△11	23
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△101	7
貸倒引当金の増減額（△は減少）	40	37
受取利息及び受取配当金	△30	△37
支払利息及び社債利息	64	104
固定資産除売却損益（△は益）	50	32
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	67	25
売上債権の増減額（△は増加）	1,162	△2,162
たな卸資産の増減額（△は増加）	△573	△4,530
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,318	453
未払費用の増減額（△は減少）	△55	404
その他	△53	△708
小計	△139	△2,275
利息及び配当金の受取額	29	38
利息の支払額	△75	△104
法人税等の支払額	△840	△656
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,026</b>	<b>△2,997</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,537	△1,425
有形固定資産の売却による収入	57	2
無形固定資産の取得による支出	—	△22
投資有価証券の取得による支出	△302	△49
投資有価証券の売却による収入	4	107
長期前払費用の取得による支出	—	△389
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,937	—
貸付けによる支出	△71	—
貸付金の回収による収入	85	15
その他	△48	1
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,749</b>	<b>△1,759</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△958	4,889
長期借入れによる収入	9,000	300
長期借入金の返済による支出	—	△586
自己株式の取得による支出	△13	△12
配当金の支払額	△568	△515
社債の償還による支出	△52	△150
少数株主への配当金の支払額	—	△2
その他	△0	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,405	3,903
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	△2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,613	△856
現金及び現金同等物の期首残高	2,183	5,194
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,796	4,337

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## [事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)

	冷蔵倉庫事業 (百万円)	食品販売事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	9,942	45,036	16	54,995	-	54,995
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	517	-	-	517	(517)	-
計	10,459	45,036	16	55,512	(517)	54,995
営業利益又は営業損失(△)	1,977	△972	13	1,018	(747)	271

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

	冷蔵倉庫事業 (百万円)	食品販売事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	9,464	53,062	17	62,544	-	62,544
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	561	-	2	563	(563)	-
計	10,025	53,062	20	63,108	(563)	62,544
営業利益	2,158	1,248	14	3,421	(892)	2,529

(注) 1. 事業区分は、連結会社の事業活動における業務の種類・性質の関連性及び特性を勘案して区分しております。

## 2. 各事業の内容

- (1) 冷蔵倉庫事業・・・・水産品・畜産品等の冷蔵・冷凍保管事業及びそれに付帯する事業
- (2) 食品販売事業・・・・水産品・畜産品等の卸売並びに加工処理等の事業
- (3) その他事業・・・・不動産賃貸業等

## 3. 会計処理方法の変更

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)

## (棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」2.(1)に記載の通り、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、前第2四半期連結累計期間における食品販売事業の営業損失は219百万円増加しております。

## [所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)及び

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## [海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)及び

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。